

『環境思想・教育研究』 募集要項・執筆要領

環境思想・教育研究会誌『環境思想・教育研究』第15号投稿原稿を下記のとおり募集いたします。
ふるってご応募ください。

I. 原稿の種類

- ① 一般研究論文：環境思想や環境教育に関連する主題の研究論文。査読あり。
12,000字程度、最大16,000字（400字詰め原稿用紙換算で30枚程度、最大40枚）。
- ② 研究ノート：一般研究論文に準ずる論考。査読なし。
12,000字程度、最大16,000字（400字詰め原稿用紙換算で30枚程度、最大40枚）。
- ③ 研究調査報告：環境思想や環境教育に関連する会議や研究動向の報告。査読なし。
12,000字程度、最大16,000字（400字詰め原稿用紙換算で30枚程度、最大40枚）。
- ④ エッセイ：環境思想や環境教育にかんするエッセイ。査読なし。
最大8,000字（400字詰め原稿用紙換算で20枚程度）。

II. 原稿の作成

【全体構成】

原稿冒頭に「和文タイトル」「英文タイトル」「氏名」「ローマ字名」を明記する。

本文の使用言語は原則として日本語または英語とする。

【句読点】

和文には句点（。）および読点（、）を、欧文にはピリオド（.）およびコンマ（,）を用いる。

【引用符】

- ・日本語文献を引用するさいは、原則としてすべてかぎカッコ（「」）をつける。また、引用文中にかぎカッコがある場合にはそれを二重かぎカッコ（『』）に変更することを基本とする。
- ・欧文を引用するさいは、原則として引用符“ ”をつける。同様に引用符内の引用符は‘ ’とする。

【注・文献引用】

- ・注は論文末尾にまとめる。注の数字は半角数字（1, 2, 3, ……）とする。
- ・著書には二重かぎカッコ、論文にはかぎカッコをつける。
- ・欧米の原著の場合、略称の使用は広く認知されているもの以外はなるべく避ける。
- ・参考文献の書式は特に指定しない。

〈文献引用例〉

尾関周二『遊びと生活の哲学』大月書店、1992年、35頁。

入江公康「第二組合／スト破り／フレキシビリティ」『現代思想』2005年1月号、47頁。

A. ゴルツ『エコロジスト宣言』（高橋武智訳）緑風出版、1983年、58頁。

【その他】

- ・提出原稿は全段組でよいが、本誌の仕上りの体裁は横2段組である。
- ・図表も原稿の分量制限の対象になる。図表掲載の詳細は個別に問い合わせること。
- ・その他の原稿作成詳細は通常の様式に従う。必要におうじて編集委員会に問い合わせること。
- ・表記の仕方は、編集委員会で統一することがある。

Ⅲ. 原稿の提出

投稿希望者は2022年3月末日までに投稿のエントリー（申し出）をおこなう。エントリー時には、(1)原稿の種類、(2)原稿題目（仮題も可）、(3)執筆予定の原稿要旨（200字以内）を編集委員会（下記メールアドレス宛）に伝える。

原稿は2022年5月末日までに、編集委員会宛電子メールに添付して提出する。

Ⅳ. 原稿の採否

上記①一般研究論文については、複数の査読者による査読を経て、編集委員会の判断により掲載の採否を決定する。

また②研究ノート、③研究調査報告、④エッセイについては、編集委員会の判断により掲載の可否を決定する。そのさい編集委員会の所見を伝えることがある。

著者校正は原則として初校のみとする。

ご投稿のエントリー・原稿ご提出・お問い合わせは、いずれも下記のメールアドレスにご一報ください。

『環境思想・教育研究』編集委員会
ed_envirn@yahoo.co.jp